

三陸防災復興プロジェクト 2019 の実施について

1 会 期

2019年6月1日（土）～8月7日（水） 68日間

2 開催場所

岩手県沿岸部の13市町村全体を会場とするオープンエリア型

[主会場：沿岸部13市町村]

宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、
岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町

※上記のほか、県内各市町村とも連携

3 実施主体

三陸防災復興プロジェクト 2019 実行委員会

(岩手県、県内市町村、大学、復興庁岩手復興局、国土交通省東北地方整備局、国土交通省東北運輸局、県内の経済・観光・運輸等の関係団体で構成する組織)

4 「防災の啓発や伝承」、「復興の現状の発信と支援への感謝」に関する主な事業

- (1) オープニングセレモニー
6月1日（土）〔釜石市〕
- (2) 三陸防災復興シンポジウム 2019
全4回開催〔釜石市、久慈市、大船渡市、宮古市〕
- (3) 三陸防災復興展示会
市町村の公共施設でのパネル展示、シンポジウム会場併催の体験型展示会の開催
- (4) “復興の今” 学習列車の運行やいわて三陸学びの旅の展開
- (5) クロージングセレモニー
8月7日（水）〔陸前高田市〕

詳細は別添プロジェクトガイドのとおり。

【開催の趣旨】

三陸鉄道リアス線の運行開始、東日本大震災津波伝承館の開館、ラグビーワールドカップ 2019™ 岩手・釜石開催など、三陸地域が国内外から大きな注目を集める好機である2019年度に、三陸地域を舞台とした総合的な防災復興行事「三陸防災復興プロジェクト 2019」を開催する。

これにより、今まさに復興に力強く取り組んでいる地域の姿を発信し、東日本大震災津波の風化を防ぐとともに、国内外からの復興への支援に対する感謝を示し、さらには、被災県として東日本大震災津波の記憶と教訓を伝え、国内外の防災力向上にも貢献すること、また、三陸地域の多様な魅力の国内外への発信と交流の活発化により、新しい三陸の創造につなげていこうとするもの。